

第657回

## 九州朝日放送番組審議会議事録

—— 2023年10月度 ——

◇ 開催日

2023年10月16日（月）

◇ 議題

<テレビ番組>

「世界水泳福岡2023 ウルトラ応援団」

放送日時：7月8日（土）13：00～14：00

九州朝日放送株式会社

## 第657回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2023年10月16日(月) 15時26分～16時18分

2. 開催場所 九州朝日放送 本社7階A会議室

### 3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 6名

委員長	藤村	まこと
委員	丸石	伸一
委員	上野	恵梨奈
委員	山根	久資
委員	副田	智幸
委員	小柳	美佳

欠席委員数 2名

副委員長	田川	真司
委員	サーズ	恵美子

### 放送事業者側出席者名

代表取締役社長	森	君夫
執行役員 総合編成局長	木附	ゆかり
執行役員 報道情報局長	柴田	高宏
報道情報局 報道情報センター長	野村	友弘
報道情報局 報道情報センター 副部長 番組プロデューサー	吉丸	耕平
番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長	吉岡	実
番組審議会事務局(視聴者・広報室)担当部長	西俣	信寿

#### 4. 議題

- (1) テレビ番組「世界水泳福岡2023 ウルトラ応援団」  
放送日時：7月8日（土）13：00～14：00
- (2) 2023年度上期の番組種別の公表報告
- (3) 10月・11月 ラジオ・テレビ番組編成状況の報告
- (4) 9月 視聴者・聴取者応答状況の報告
- (5) その他

#### 5. 議事の概要

委員の意見（概要）

委員からは、

- メインプールとハイダイビングの2会場からの中継は臨場感があり、会場の雰囲気伝えるのに効果的だった。
- マリンメッセ特設プールの設営工程の早回し映像や、ハイダイビングの臨場感あふれる映像など、テレビならではの番組構成になっていたと思う。
- ゲストの松田丈志さん（元競泳日本代表）の選手としての経験や過去のエピソードを交えながらのトークから、番組や大会を盛り上げる熱意や意気込みが伝わって良かった。
- 長岡アナウンサーが実際に水球に挑戦していた様子から、競技の大変さやすごさがリアルに伝わってきた。
- 出場選手や種目の紹介により、「世界水泳」を見るきっかけづくりになっていた。水球の水中の様子やハイダイビングの水しぶきを立てる意味など、知らないことを解説してくれたことで理解が深まった。
- 水球やハイダイビングなど、普段あまり見ることがない競技にスポットを当てたことも非常に良かった。
- 地元の選手を紹介するのは非常に大事だと思った。選手たちを支えてきた家族の姿を紹介することで、選手について様々な視点から深く知ることができ、応援したい気持ちになった。
- 「福岡県民の福岡県民による『世界水泳福岡』を応援する」というコンセプトは非常に良かった。各選手の地元に対する愛情と、家族を含めた地元の人たちが各選手に寄せる想いがよく分かる内容だった。

などの評価を頂きました。

一方、気になる点や望むこととして、

- 水球について、「生で見れば絶対に面白い」とのコメントが繰り返しあったが、実際の試合がどんな様子なのか、試合映像のVTRが挿入されているとよかったと思う。
- 大会日程の案内が番組内でなかった。番組で紹介した選手がいつ、どこで出場するのか、大会全体も含めて情報があるとよかった。テロップで2次元コードを表示して、ネット検索に

誘導するだけでもいいと思う。

- 生放送で進行や準備に余裕がなく、ドタバタしている様子が伝わった。ゲストの松田丈志さんのコメントである程度まとまったように感じられる場面が多く、ハラハラした。
- 選手の家族に生放送の進行役を依頼した際、スタッフがカンニングペーパーを出す様子を、わざわざ見せる必要があったのか？
- 地元出身者以外の有力選手の紹介もしたほうがよかったのでは。また、その選手のライバルの状況も含めた大会での立ち位置を教えてもらえたら、理解が深まったと思う。
- 「福岡の子どもに夢をつなげる」という観点から、水泳をやっている子どもたちの目線からのコーナーがあったらよかったと思う。
- 「福岡全体で『世界水泳』を盛り上げよう！」という熱が届く番組だったが、「世界水泳」の視聴率を上げたいのか、たくさんの人に来てもらいたいのか、チケットを売りたいのか、いずれの情報も伝わりにくかったように感じた。

などの批評や提言を頂きました。

これらに対して、制作担当者からは、

- 水球の試合映像については、テレビで放送できる映像が少なかったため、荒木健太選手に出演してもらうことや長岡アナウンサーが競技を体験することで魅力を表現したいと考えた。
- 大会日程については情報量が非常に多く、限られた時間の中で紹介する難しさがあった。ネットとの連動や、見どころを別途紹介するといった演出を、今後は検討したい。
- スタッフがカンニングペーパーを出す様子が映り込んだりして、ドタバタした印象になってしまったが、生放送の臨場感を出すため、あえてそういった演出にした。
- 会場の完成が間際になり、メディアへの事前の公開時間も限られた中で、まずは出来上がった会場をいち早く、じっくりと見てもらいたいという点を重視したため、バタバタした感じが出てしまったかもしれない。
- 今回は「福岡県民のための『世界水泳』」という部分を重視した。テレビ朝日が制作する番組との棲み分けを図るため、福岡県出身の3選手を中心に構成した。
- ただ、選手のライバルに関しては、竹原秀一選手や鈴木聡美選手がメダル争いにどう絡んでいくかを描くために、入れるべきだったと考えている。
- 子どもの夢を紹介する「ウルトラ宣言」という企画を、レギュラー番組「シリタカ！」の中で放送した。この特番の中でも紹介する予定だったが、放送時間の制約があり、断念せざるを得なかった。
- 注目されていない種目のチケットが完売となるなど、「世界水泳」を盛り上げたいという一定の狙いは果たせたと思う。ただ、大会日程など膨大な情報量を伝えるにあたり、放送以外のいろんなツールを駆使することを考えていかなければと感じている。

などの説明をしました。